



あなたの、いちばんであるために。

# やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

## 中小企業景況レポート 2024年10~12月期 No.68 2025.1.15 発行

### ■ 調査要領 ■

- 調査対象  
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
- 調査時期・期間  
調査時期：2024年12月2日~6日  
調査期間：今期実績 2024年10月~12月  
来期見通し 2025年1月~3月
- 調査方法  
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法  
DIを中心に分析
- 特別調査  
「2025年（令和7年）の経営見通し」

### ■ 調査対象と回答状況 ■

業種	企業数	回答数	回答率
製造業	28	28	100.0%
卸売業	15	14	93.3%
小売業	17	17	100.0%
サービス業	26	25	96.2%
建設業	23	20	87.0%
不動産業	11	11	100.0%
合計	120	115	95.8%

### ※ DI (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合 - 「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が 50%、「変わらず」の回答が 30%、「悪い・やや悪い」の回答が 20%の場合

DI は  $50 \times \text{「良い・やや良い」} - 20 \times \text{「悪い・やや悪い」} = +30$  となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

### 業況判断 DI

業種	前期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	DI	良い	悪い	DI
総合	▲0.8	27.8	26.0	1.8	23.4	27.8	▲4.4
製造業	▲14.3	32.1	32.1	0.0	28.5	25.0	3.5
卸売業	7.2	28.5	14.2	14.3	21.4	14.2	7.2
小売業	23.5	23.5	29.4	▲5.9	29.4	29.4	0.0
サービス業	▲8.0	36.0	20.0	16.0	16.0	28.0	▲12.0
建設業	0.0	25.0	30.0	▲5.0	30.0	35.0	▲5.0
不動産業	0.0	9.0	27.2	▲18.2	9.0	36.3	▲27.3

### 業種別景気天気図

業種	前期	今期	見通し
総合			
製造業			
卸売業			
小売業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区 66社、東部地区 32社、相模原周辺地区 17社

31以上	11~30	10~▲10	▲11~▲30	▲31以上

# 概況

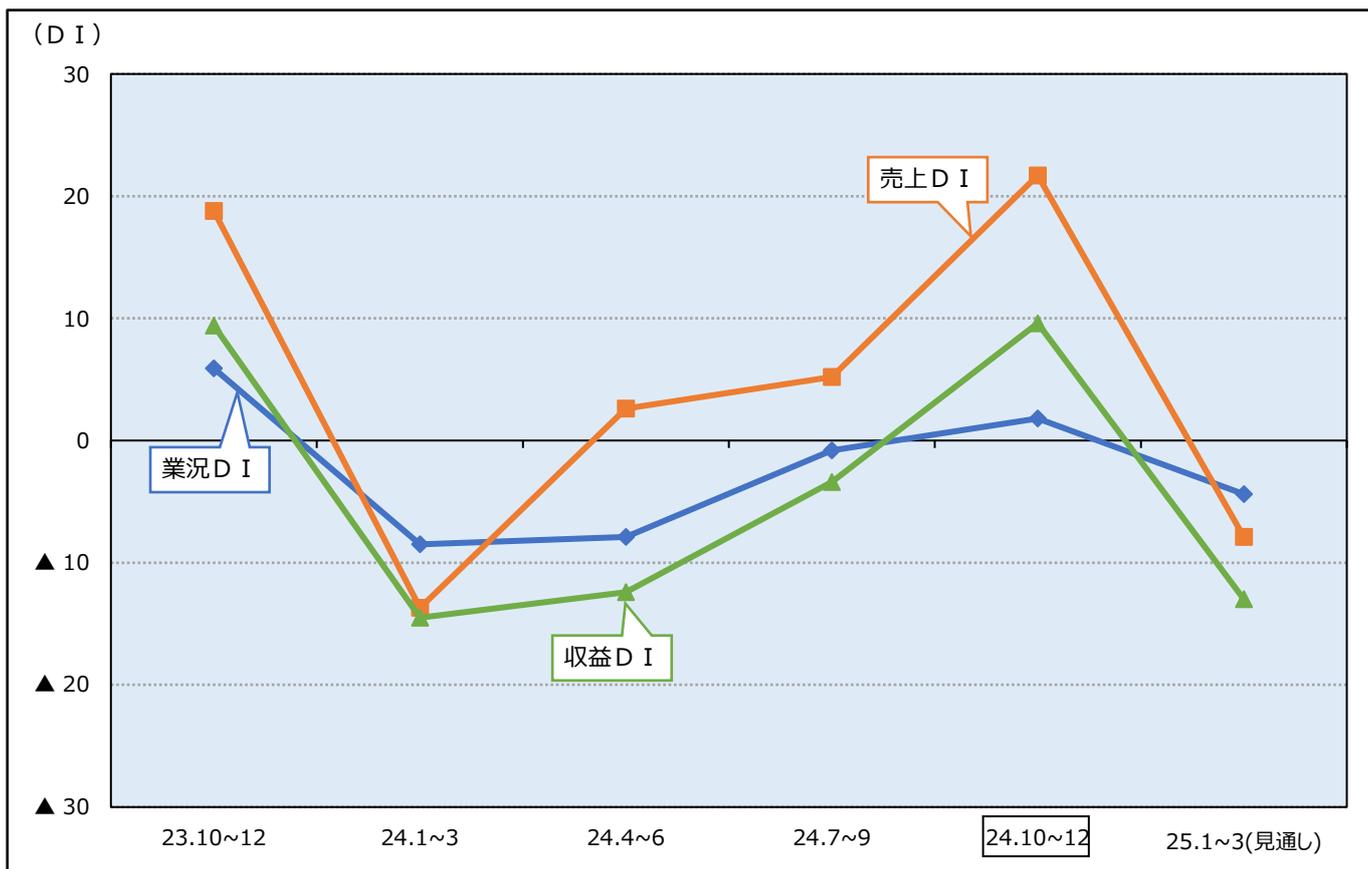
## <業況・売上・収益>

今期（10～12月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（7～9月、以下同じ。）▲0.8から1.8と、2.6ポイント改善（前年同期比4.1ポイント悪化）しました。売上D Iは同5.2から21.7と、16.5ポイント改善（同比2.9ポイント改善）、収益D Iは同▲3.4から9.6と、13.0ポイント改善（同比0.2ポイント改善）しました。

全業種総合の来期見通し（1～3月、以下同じ。）をみると、業況D Iは今期1.8から▲4.4と、今期実績比6.2ポイント悪化の見通しとなりました。売上D Iは同21.7から▲7.9と、同比29.6ポイント悪化、収益D Iは同9.6から▲13.0と、同比22.6ポイント悪化の見通しとなりました。

### ■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

	23.10～12	24.1～3	24.4～6	24.7～9	24.10～12	25.1～3 見通し
業況D I	5.9	▲8.5	▲7.9	▲0.8	1.8	▲4.4
売上D I	18.8	▲13.7	2.6	5.2	21.7	▲7.9
収益D I	9.4	▲14.5	▲12.4	▲3.4	9.6	▲13.0

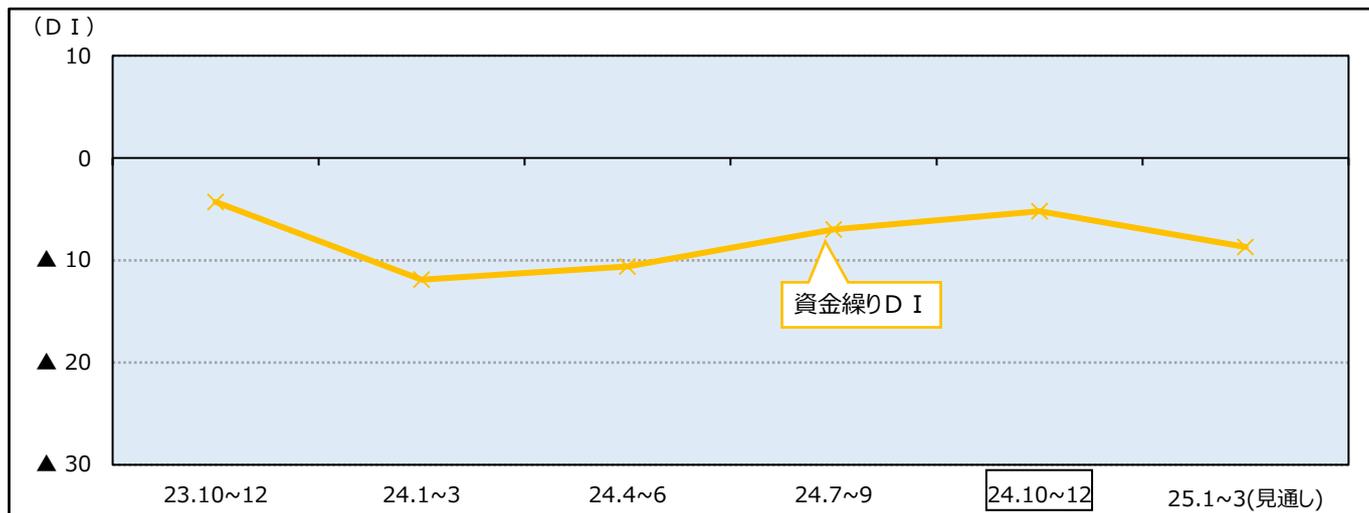


## <資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲7.0から▲5.2と、1.8ポイント改善（前年同期比0.9ポイント悪化）しました。また、来期は▲8.7と、今期実績比3.5ポイント悪化の見通しとなりました。

### ■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

	23.10~12	24.1~3	24.4~6	24.7~9	24.10~12	25.1~3 見通し
資金繰りD I	▲4.3	▲11.9	▲10.6	▲7.0	▲5.2	▲8.7



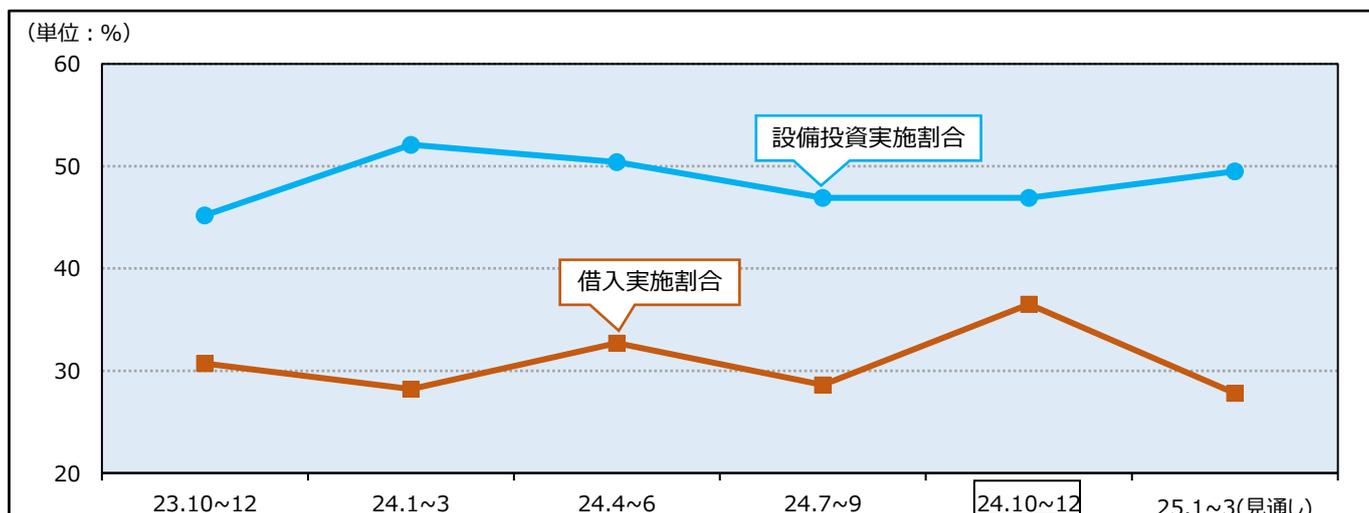
## <設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期から横這いの46.9%（前年同期比1.7ポイント上昇）となりました。また、来期は49.5%と、今期実績比2.6ポイントの上昇が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期28.6%から36.5%と、前期比7.9ポイント上昇（前年同期比5.8ポイント上昇）しました。また、来期は27.8%と、今期実績比8.7ポイントの低下が見込まれます。

### ■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

	23.10~12	24.1~3	24.4~6	24.7~9	24.10~12	25.1~3 見通し
設備投資実施割合	45.2%	52.1%	50.4%	46.9	46.9	49.5
借入実施割合	30.7%	28.2%	32.7%	28.6	36.5	27.8



# 製造業

## ■ 主要D Iの推移 ■

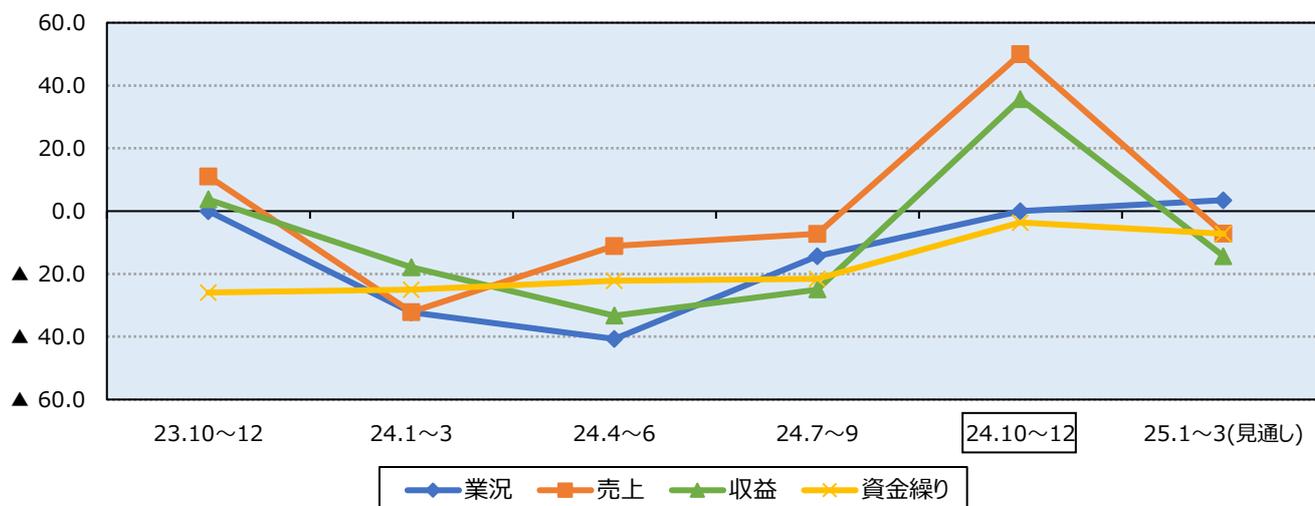
	前年同期	前期	今期	来期
業況	0.0	▲14.3	0.0	3.5
売上	11.1	▲7.2	50.0	▲7.1
収益	3.7	▲25.0	35.7	▲14.3
資金繰り	▲25.9	▲21.5	▲3.6	▲7.2

### 【今期】

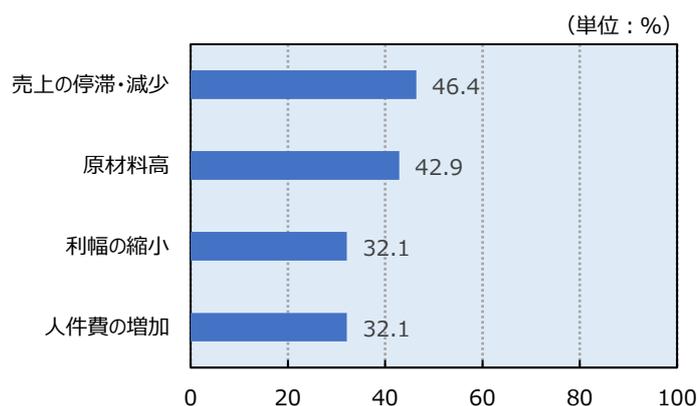
前期比で、すべてのD Iが改善しました。特に、売上D Iが同比 57.2 ポイント、収益D Iが同比 60.7 ポイントと大きく改善しました。前年同期比では、業況DIを除いて改善しました。

### 【来期】

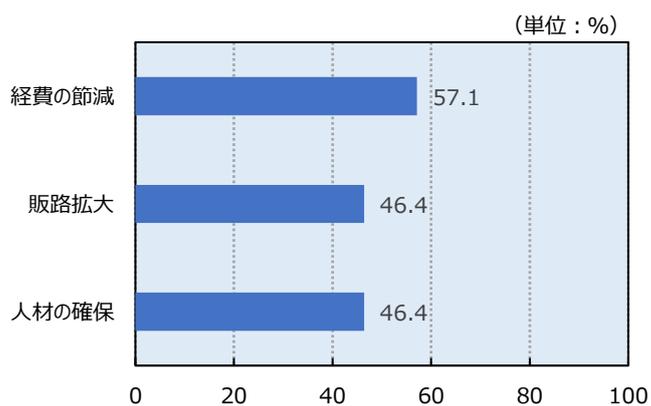
今期実績比で、業況D Iを除いて悪化の見通しとなりました。特に、売上D Iが同比 57.1 ポイント、収益D Iが同比 50.0 ポイントと大きく悪化の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

- ビジネスマッチングに参加するなど、積極的に販路拡大に取り組んでいる。(精密機器)
- 原材料価格上昇分の販売価格への転嫁と人材の確保に注力したいと考えている。(ワイン・果実酒)

# 卸売業

## ■ 主要D Iの推移 ■

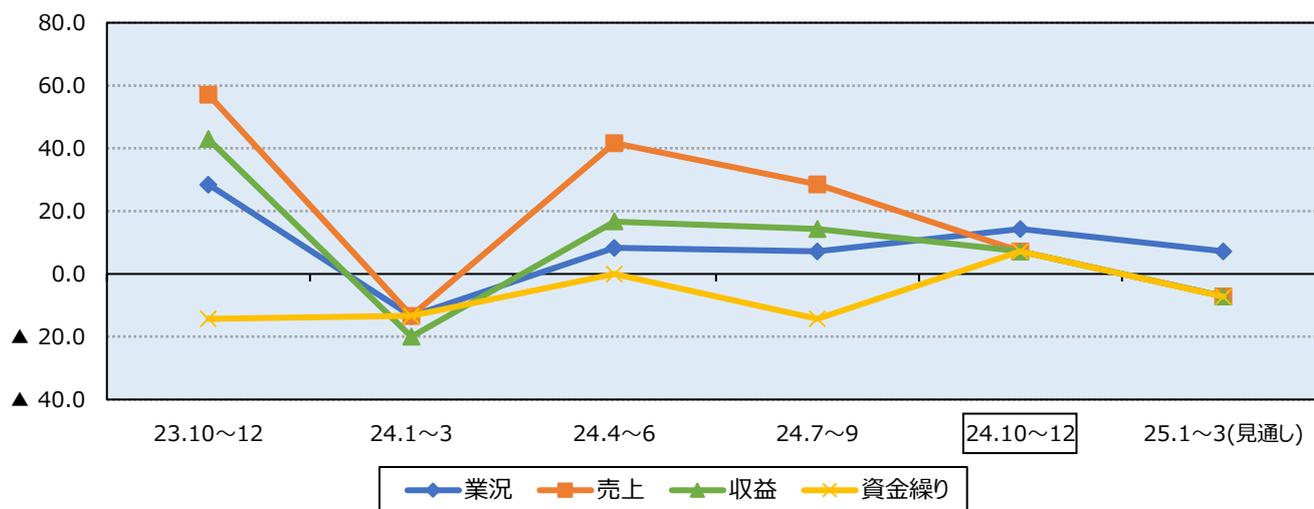
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	28.5	7.2	14.3	7.2
売 上	57.1	28.6	7.2	▲7.1
収 益	42.9	14.3	7.2	▲7.1
資 金 繰 り	▲14.3	▲14.3	7.2	▲7.2

### 【今期】

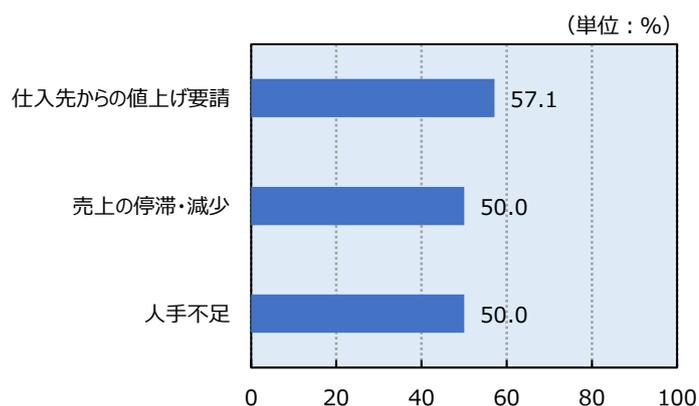
前期比で、業況D Iと資金繰りD Iが改善、売上D Iと収益D Iが悪化しました。前年同期比では、資金繰りD Iを除いて悪化しました。特に、売上D Iが同比49.9ポイントと大きく悪化しました。

### 【来期】

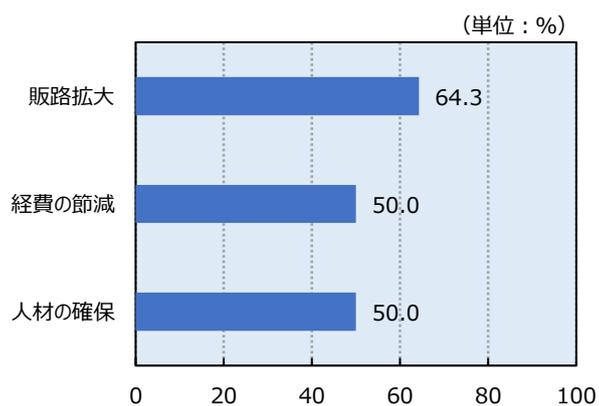
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

- 仕入価格が安定せず、価格転嫁に苦慮している。(建築資材)
- 人手不足が最も重要な課題となっており、若手の人材を探している。(食品)

# 小売業

## ■ 主要D Iの推移 ■

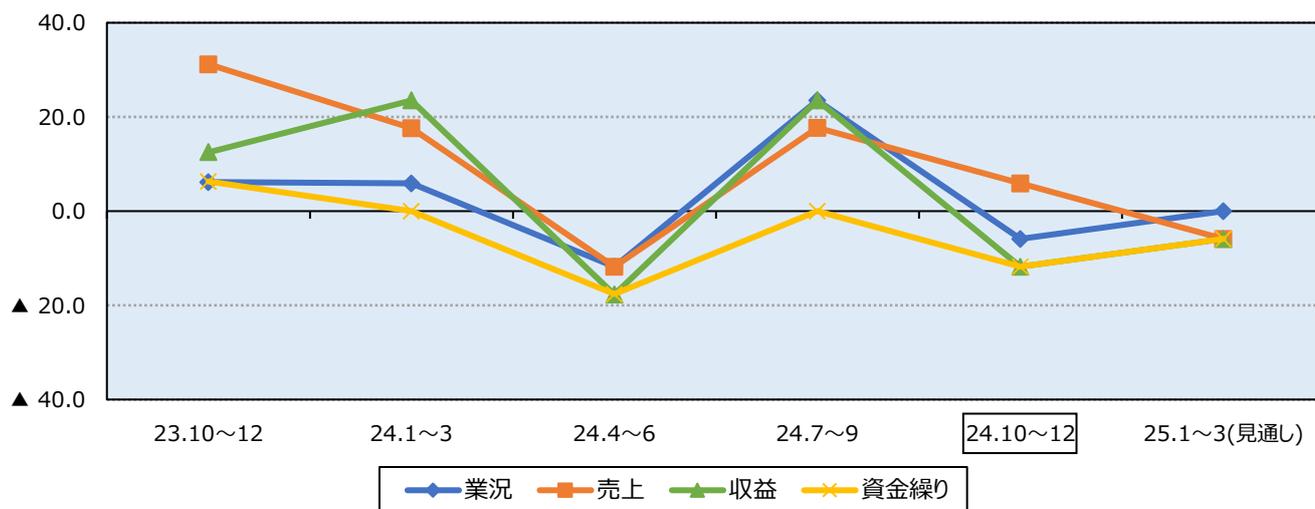
	前年同期	前期	今期	来期
業況	6.2	23.5	▲5.9	0.0
売上	31.2	17.7	5.9	▲5.9
収益	12.5	23.5	▲11.8	▲5.9
資金繰り	6.3	0.0	▲11.8	▲5.9

### 【今期】

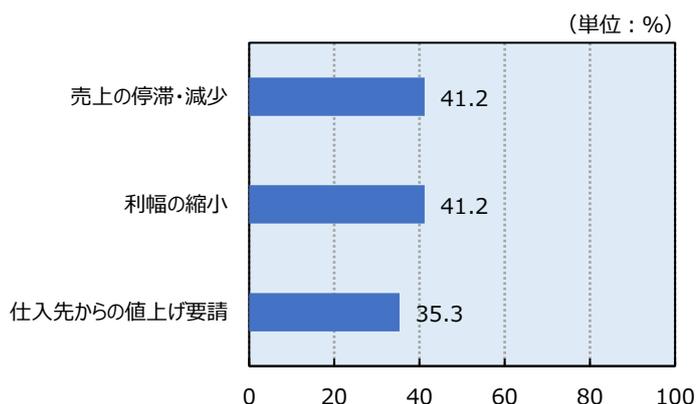
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが悪化しました。

### 【来期】

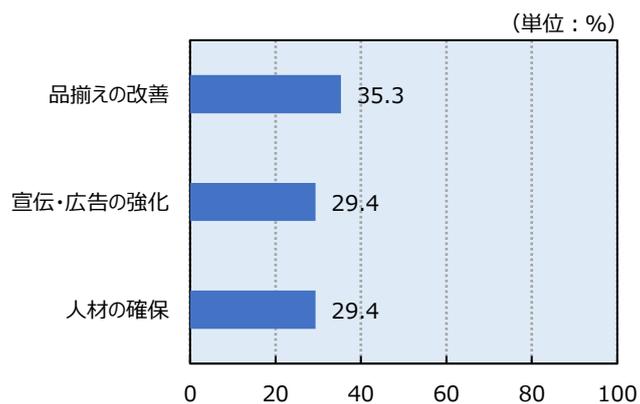
今期実績比で、売上D Iを除いて改善の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



## 【調査員のコメント】

- 自社ホームページの改修と、SNS を活用した宣伝・広告の強化について検討している。(酒類)
- 業界全体で後継者不足が大きな問題となっている。(生コン)

# サービス業

## ■ 主要D Iの推移 ■

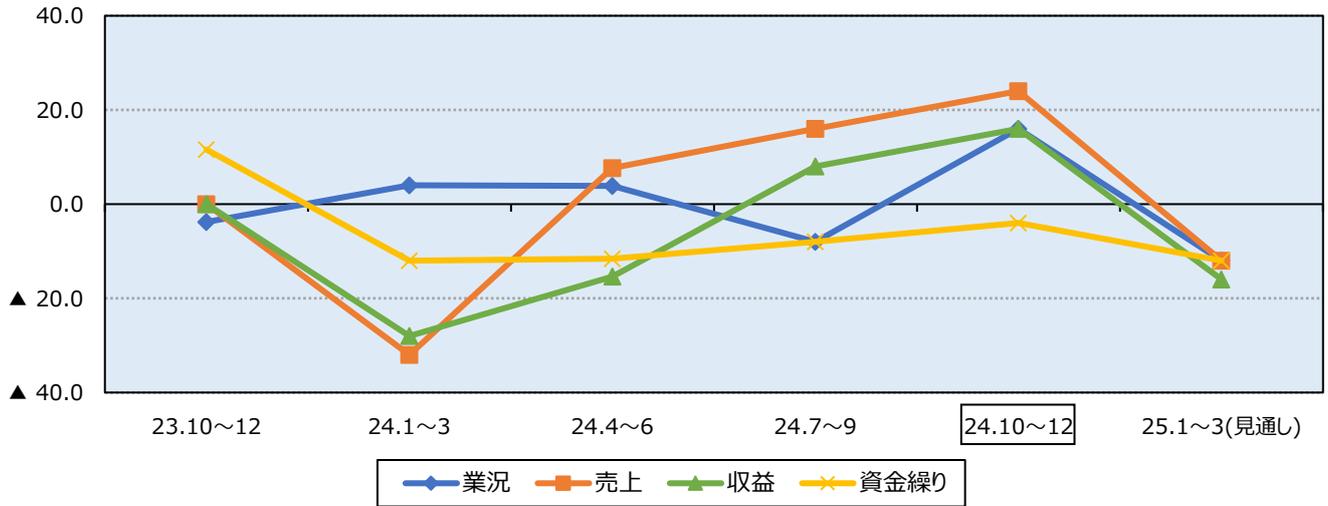
	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲3.8	▲8.0	16.0	▲12.0
売上	0.0	16.0	24.0	▲12.0
収益	0.0	8.0	16.0	▲16.0
資金繰り	11.6	▲8.0	▲4.0	▲12.0

### 【今期】

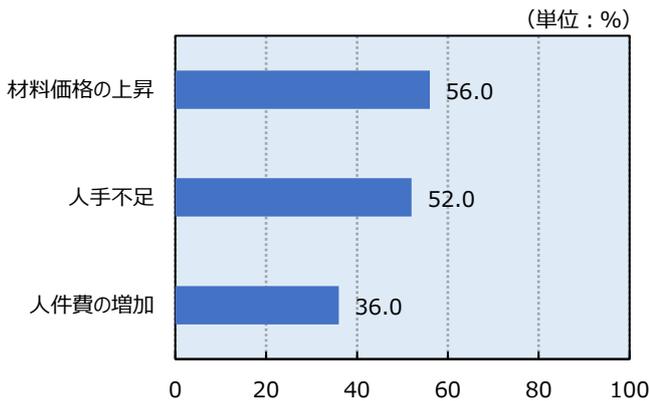
前期比で、すべてのD Iが改善しました。前年同期比では、資金繰りD Iを除いて改善しました。

### 【来期】

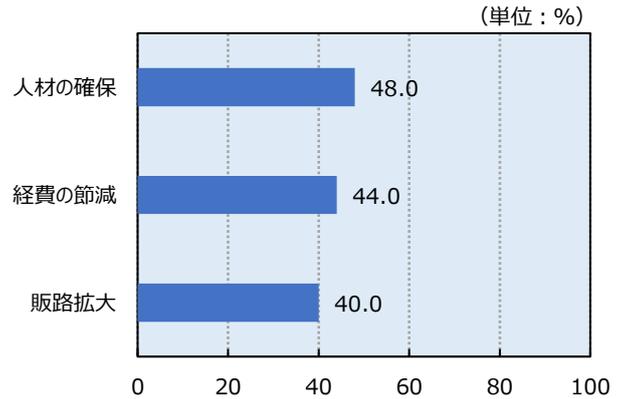
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

- インバウンド効果や価格転嫁により業況を維持しているが、国内観光客は減少傾向にある。(レジャー)
- 営業エリアの人口減少により、売上も減少傾向にある。(遊技場)

# 建設業

## ■ 主要D Iの推移 ■

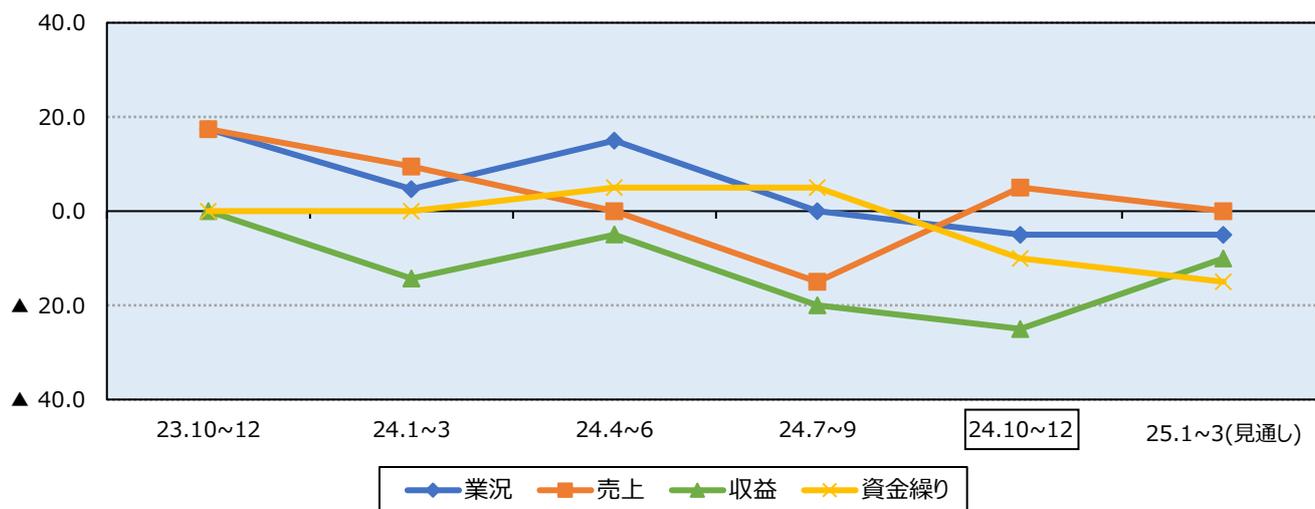
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	17.4	0.0	▲5.0	▲5.0
売 上	17.4	▲15.0	5.0	0.0
収 益	0.0	▲20.0	▲25.0	▲10.0
資 金 繰 り	0.0	5.0	▲10.0	▲15.0

### 【今期】

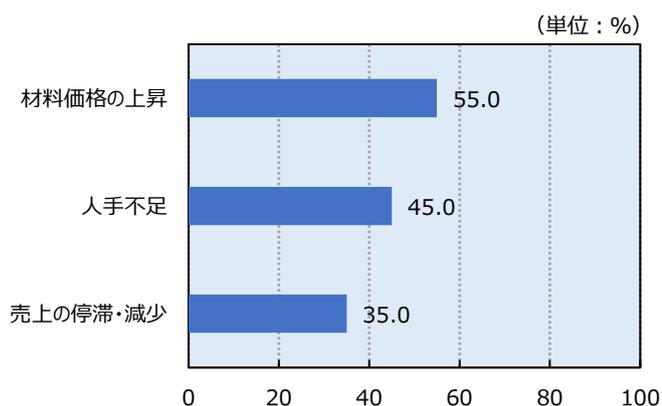
前期比で、売上D Iを除いて悪化しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

### 【来期】

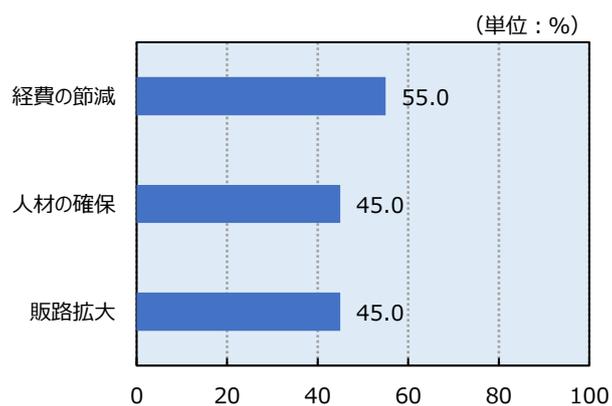
今期実績比で、業況D Iが横這い、売上D Iと資金繰りD Iが悪化、収益D Iが改善の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

- 材料価格の上昇や人手不足が課題となっており、下請け業者の確保が難しくなっている。(総合建設)
- 最近では電線の地中化工事にも注力し、売上増加に努めている。(電気通信工事・電気工事)

# 不動産業

## ■ 主要D Iの推移 ■

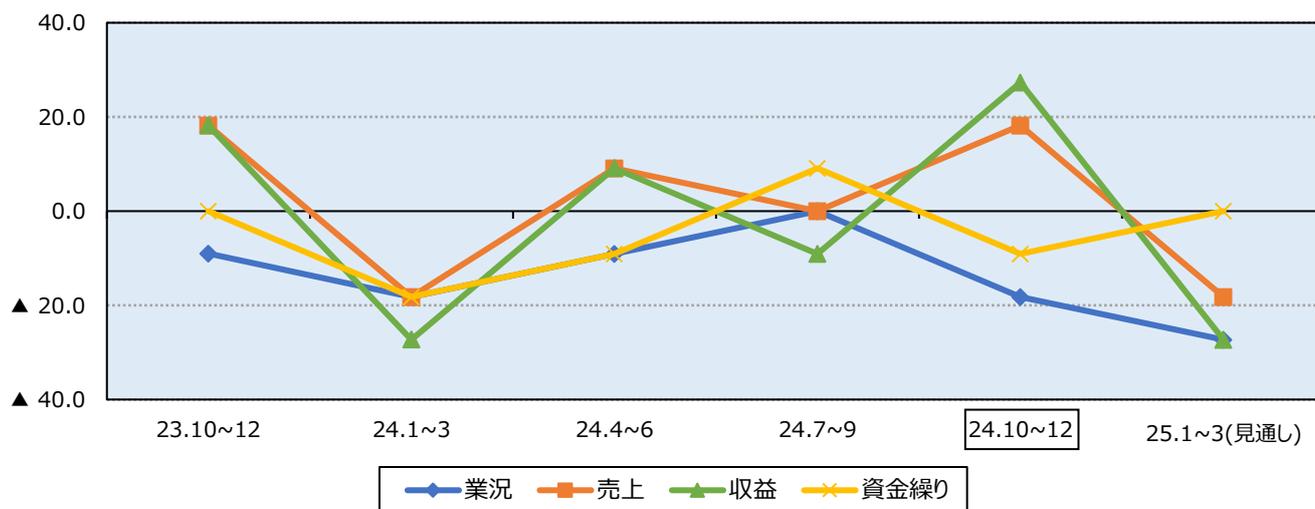
	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲9.0	0.0	▲18.2	▲27.3
売上	18.2	0.0	18.2	▲18.2
収益	18.2	▲9.1	27.3	▲27.3
資金繰り	0.0	9.1	▲9.1	0.0

### 【今期】

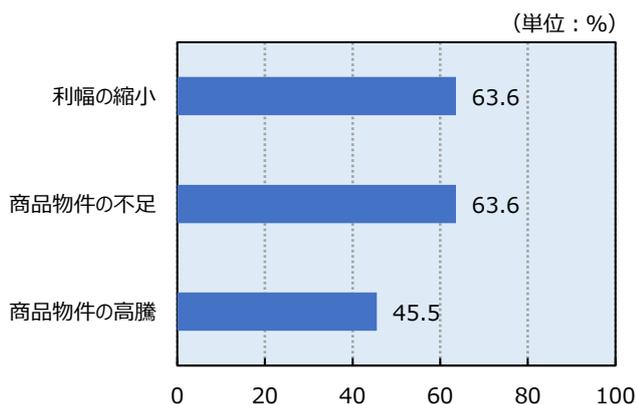
前期比で、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iと収益D Iが改善しました。前年同期比では、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iが横這い、収益D Iが改善しました。

### 【来期】

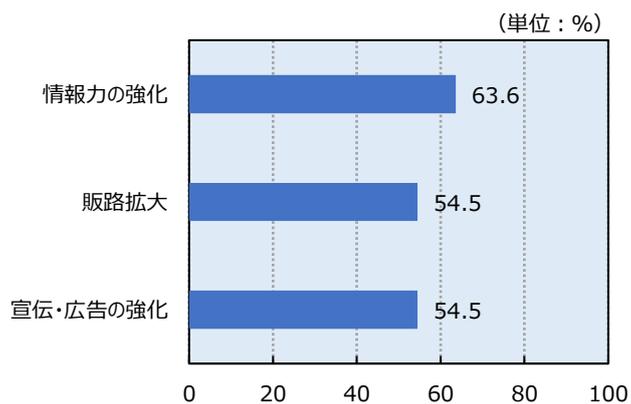
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。



## ■ 経営上の問題点 ■



## ■ 当面の重点経営施策 ■



### 【調査員のコメント】

○物件の仕入れに苦慮しており、情報力の強化が課題となっている。(不動産売買・仲介)

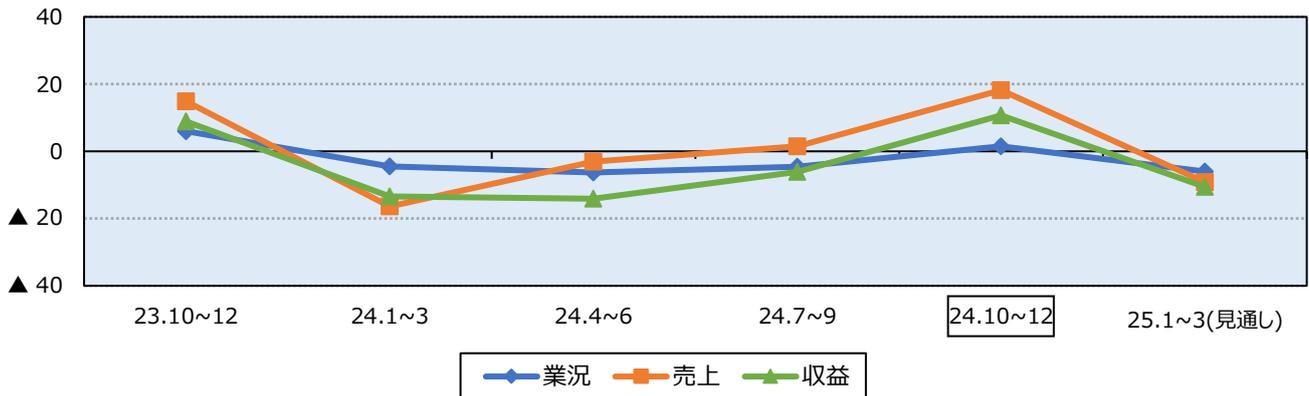
○今後は業務のDXや人材育成などの取組みを充実させたいと考えている。(不動産売買・仲介)

## <地区別D Iの状況>

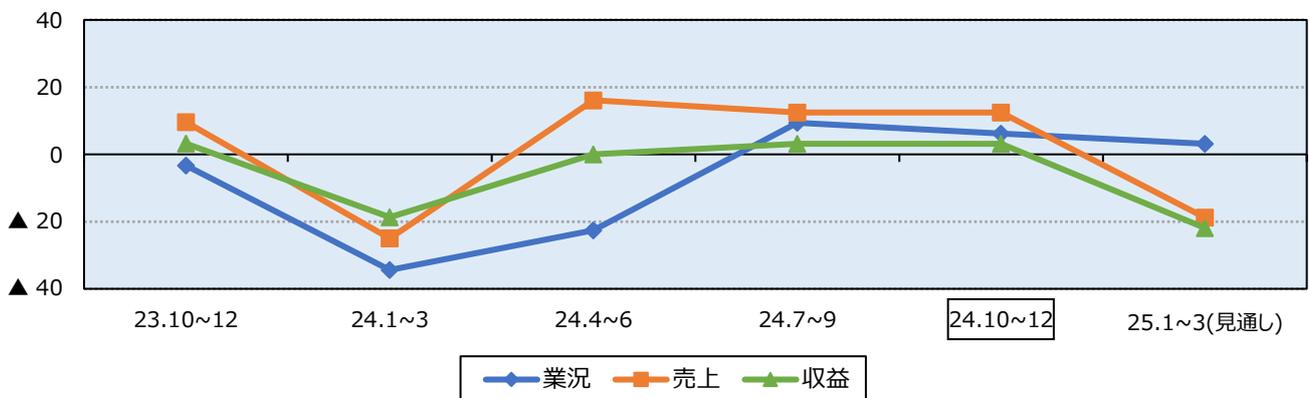
山梨県国中地区では、前期比ですべてのD Iが改善しました。東部富士五湖地区では業況D Iが悪化し、売上D Iと収益D Iは横這い、相模原周辺地区では業況D Iが悪化し、売上D Iと収益D Iが改善しました。前年同期比では、山梨県国中地区と相模原周辺地区で売上D Iと収益D I、東部富士五湖地区で業況D Iと売上D Iがそれぞれ改善しました。

来期見通しについては、すべての地区で、すべてのD Iが今期実績比で悪化の見通しとなりました。

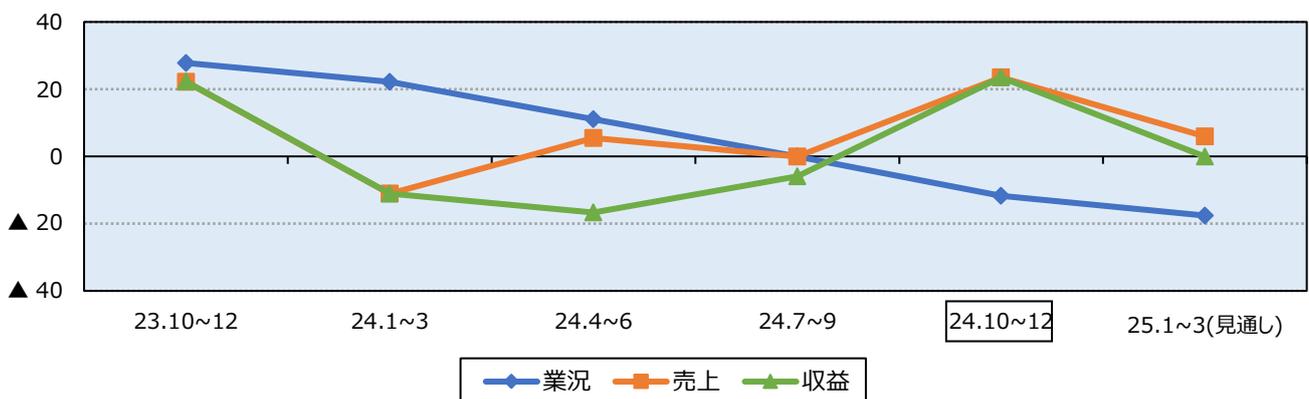
### 【 山梨県国中地区D Iの推移 】



### 【 東部富士五湖地区D Iの推移 】

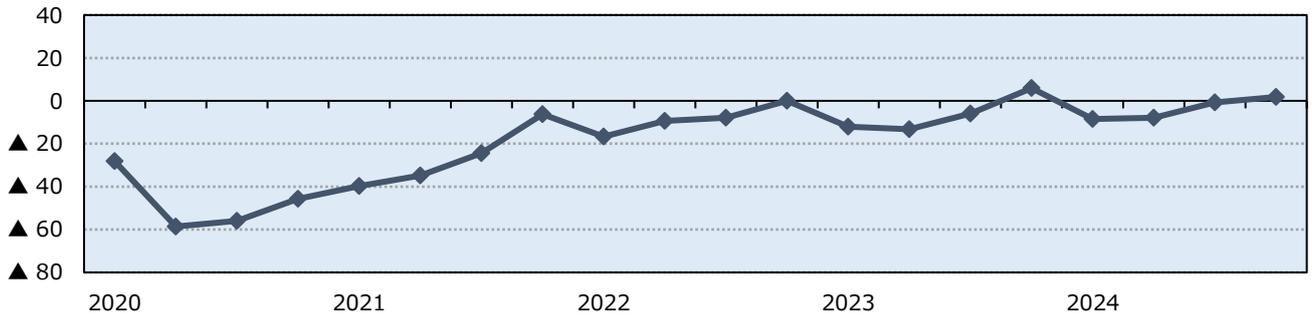


### 【 相模原周辺地区D Iの推移 】

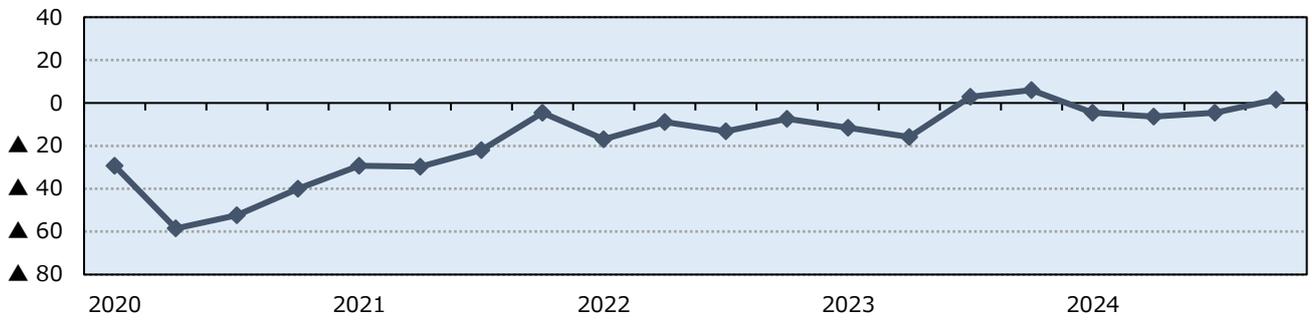


# <業況D Iの5年間の推移>

## 【 総合D Iの推移 】



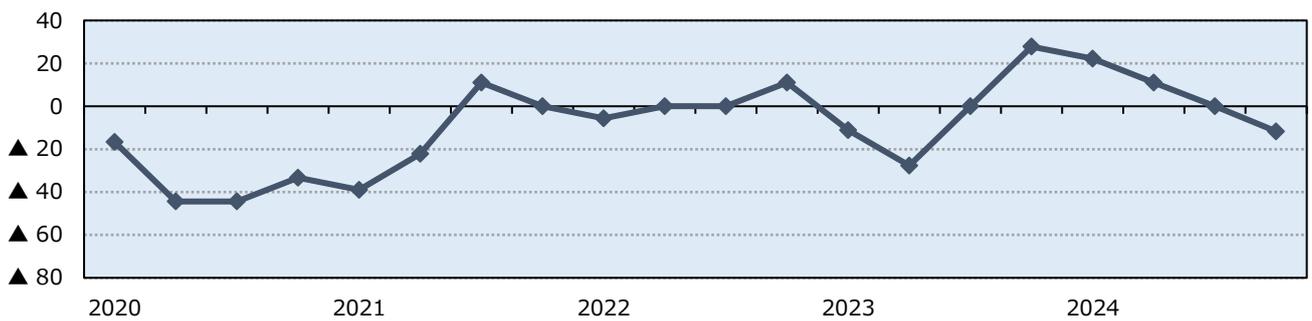
## 【 山梨県国中地区D Iの推移 】



## 【 東部富士五湖地区D Iの推移 】



## 【 相模原周辺地区D Iの推移 】

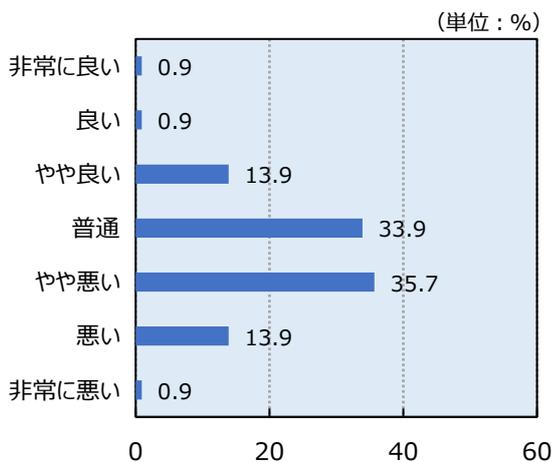


## 2025年（令和7年）の経営見通し（回答企業：115社）

### 問1 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。

- 『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）が15.7%、『悪い』（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が50.4%、「良い(A)－悪い(B)=DI」は▲34.7となりました。
- 2024年見通し調査比で11.6ポイント悪化、2023年見通し調査比で25.1ポイント改善しました。

【2025年の日本の景気の見通し】



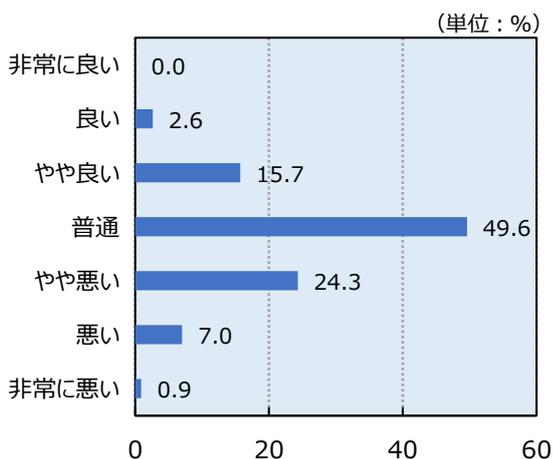
(単位：%)

	2023年 見通し	2024年 見通し	2025年 見通し
良い(A)	10.3	23.1	15.7
非常に良い	0.0	0.9	0.9
良い	3.4	4.3	0.9
やや良い	6.8	17.9	13.9
普通	19.7	30.8	33.9
悪い(B)	70.1	46.2	50.4
やや悪い	52.1	31.6	35.7
悪い	14.5	12.0	13.9
非常に悪い	3.4	2.6	0.9
DI(A)-(B)	▲59.8	▲23.1	▲34.7

### 問2 貴社では、2025年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。

- 『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）が18.3%、『悪い』（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が32.2%、「良い(A)－悪い(B)=DI」は▲13.9となりました。
- 2024年見通し調査比で5.4ポイント悪化、2023年見通し調査比で14.4ポイント改善しました。

【2025年の自社の業況（景気）の見通し】



(単位：%)

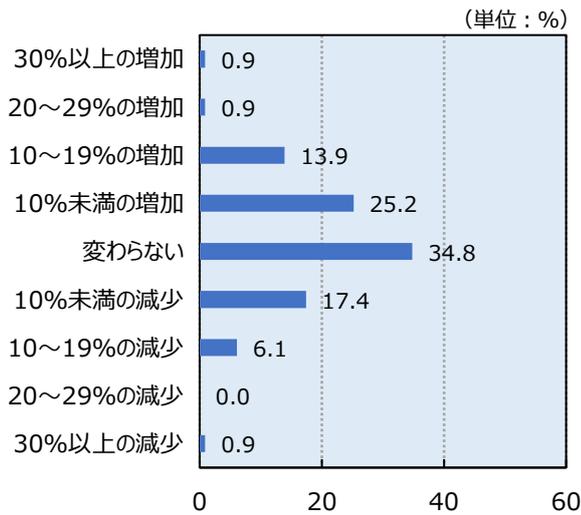
	2023年 見通し	2024年 見通し	2025年 見通し
良い(A)	17.9	24.8	18.3
非常に良い	0.0	0.0	0.0
良い	5.1	7.7	2.6
やや良い	12.8	17.1	15.7
普通	35.9	41.9	49.6
悪い(B)	46.2	33.3	32.2
やや悪い	36.8	27.4	24.3
悪い	8.5	4.3	7.0
非常に悪い	0.9	1.7	0.9
DI(A)-(B)	▲28.3	▲8.5	▲13.9

**問3 2025年において貴社の売上額の伸び率は、2024年に比べておおよそのくらいになると見通していますか。**

- 「増加(A)」が40.9%、「減少(B)」が24.3%、「増加(A)－減少(B)＝DI」は16.6となりました。
- 2024年見通し調査比で8.1ポイントの改善、2023年見通し調査比で2.9ポイント改善しました。
- 「増加(A)－減少(B)＝DI」は3年続けてプラス値となりました。

【2025年の自社の売上額の伸び率の見通し】

(単位：%)



	2023年 見通し	2024年 見通し	2025年 見通し
増加(A)	37.6	35.0	40.9
30%以上	1.7	1.7	0.9
20～29%	3.4	5.1	0.9
10～19%	8.5	9.4	13.9
10%未満	23.9	18.8	25.2
変わらない	38.5	38.5	34.8
減少(B)	23.9	26.5	24.3
30%以上	15.4	17.1	0.9
20～29%	7.7	5.1	0.0
10～19%	0.0	0.9	6.1
10%未満	0.9	3.4	17.4
DI(A)-(B)	13.7	8.5	16.6

**問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。**

- 「すでに上向いている」、「6か月以内」、「1年後」のいずれかを回答した企業の割合は60.0%となり、2024年見通し調査比で4.4ポイント増加、2023年見通し調査比で7.9ポイント増加しました。
- 「見通しは立たない」と回答した企業の割合は21.7%となり、2024年見通し調査比で3.8ポイント増加、2023年見通し調査比で2.9ポイント増加しました。

【自社の業況が上向き転換点】

(単位：%)

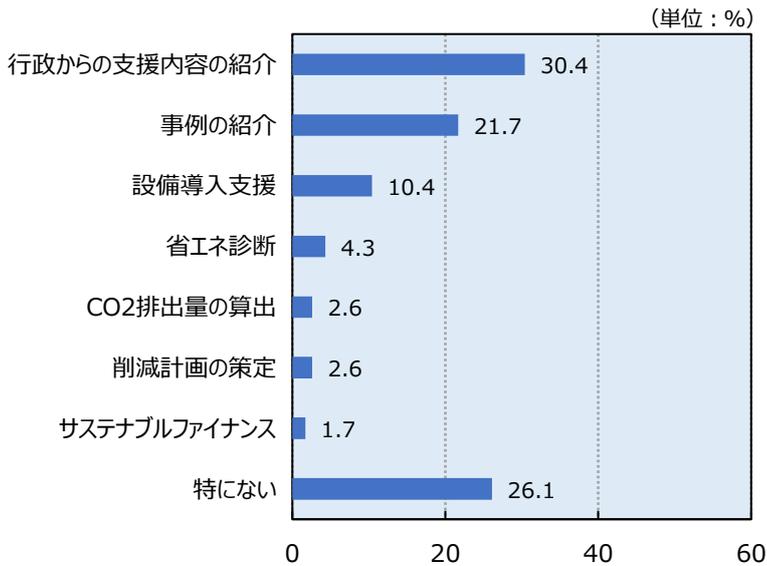


	2023年 見通し	2024年 見通し	2025年 見通し
すでに上向いている	20.5	23.9	17.4
6か月以内	15.4	15.4	18.3
1年後	16.2	16.2	24.3
2年後	16.2	12.0	9.6
3年後	6.8	10.3	2.6
3年超	6.0	4.3	6.1
見通しは立たない	18.8	17.9	21.7

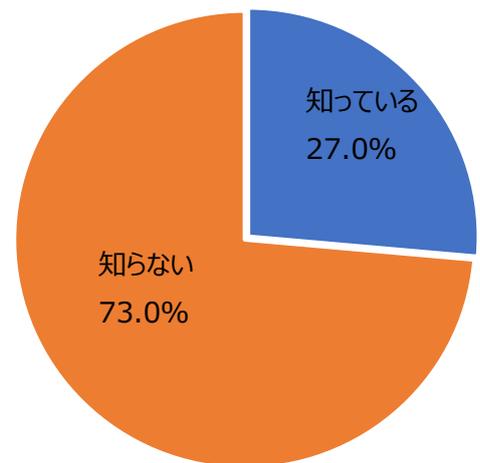
**問5 貴社は、脱炭素に向けて、信用金庫業界に期待する取組みはありますか。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的な取組みを行っていることを知っていますか。**

- 信用金庫業界に期待する脱炭素に向けた取組みについて、「行政からの支援内容の紹介」が30.4%と最も多く、次いで「特にない」が26.1%、「事例の紹介」が21.7%、「設備導入支援」が10.4%となりました。
- 信用金庫業界が地域のために積極的な取組みを行っていることについて、「知っている」が27.0%、「知らない」が73.0%となりました。

【信用金庫業界に期待する脱炭素に向けた取組み】



【信用金庫業界の取組み状況】



## ★地域のイベント情報

安藤家住宅ひなまつり（開催日：2月13日～4月7日）

⇒築317年を迎え、国の重要文化財に指定されている山梨の名建築、「安藤家住宅」にて、江戸時代から昭和までの約300体のひな人形の展示を行います。

会場：安藤家住宅（南アルプス市西南湖4302）

交通アクセス：中部横断自動車道南アルプスICより車で約10分、またはJR身延線東花輪駅からバスと徒歩で約15分

津久井湖さくらまつり（開催日：例年4月上旬頃）

⇒桜の名所である津久井湖（花の苑地）周辺にて、特産品の展示やフリーマーケット、ステージイベント、桜のライトアップを行います。

会場：津久井湖城山公園 花の苑地（相模原市緑区太井1274）

交通アクセス：JRまたは京王線橋本駅からバスで約20分

武田の里ウォーク（開催日：例年4月上旬頃）

⇒東に茅ヶ岳、北に八ヶ岳、西に南アルプス、南に富士山を眺めながら、ピンクに彩られた新府桃源郷の中を歩くウォーキングイベントです。

会場：韮崎中央公園陸上競技場（韮崎市藤井町北下條2531）

交通アクセス：中央自動車道韮崎ICより車で約10分

## 編集後記

2025年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のDI調査では、総合ですべてのDIが前期（7月～9月）比で改善しました。業種別では、製造業とサービス業ですべてのDIが同比で改善しました。

一方、来期については、総合ですべてのDIが悪化の見通しとなり、業種別では、卸売業とサービス業ですべてのDIが悪化の見通しとなりました。

特別調査では、「2025年（令和7年）の経営見通し」と題し調査しました。日本の景気や自社の業況の見通しについて、2024年見通し調査比では悪化した一方、2023年見通し調査比では改善しました。

また、信用金庫業界に期待する脱炭素への取組みについては、「行政からの支援内容の紹介」や「事例の紹介」、「設備導入支援」といった回答が多い結果となりました。

当金庫では、2022年に「山梨信用金庫脱炭素化宣言」を公表し、地公体等関連機関と連携のうえ、脱炭素化に関する取組みを推進しております。外部専門機関を通じた省エネ診断のご提案や、各種情報提供によるお客さまの課題解決に積極的に取り組んでおりますので、ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。